

読書に親しむ態度の育成、学習に結び付けた取組の事例

学校名 川口市立仲町中学校
所在地 川口市西川口2-16-1
電話 048-252-6140

1 本校の概要

本校は、今年度開校70年目を迎える伝統校であり、生徒261名の生徒が在籍している。学校教育目標「光る汗豊かな心 拓く夢」の校風のもと「笑顔と規律と彩りのある仲町中学校」として生徒たちが自己実現を図り、幸せな未来を掴むための教育を行う学校であるように地域の皆様と教職員・保護者一同、力を合わせて取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ a 読書に親しむ態度や読書週間に係る取組
- ・ b 各教科等における学習に結び付けた取組

(2) 実践の概要

本校は、週5日10分間の「朝読書」を設けている。前期・後期の図書委員会が中心となり、企画を立案、実施運営する等、読書活動を推進している。

ア 図書委員会による「読書ビンゴ」

前期の図書委員会主催の企画として、1学期に「読書ビンゴ」を行った。3×3マスのビンゴを生徒が作成し、本の返却時に図書委員がビンゴのマスに印を押す。一列揃ったらしおりをプレゼントする取組は、生徒の読書意欲の向上につながっていた。

イ 図書委員おすすめの本コーナー展示

一人2～3冊おすすめの本をコーナー展示した。テスト前には、学習参考書や勉強に関連した本を選書し展示するなど時期に合わせて工夫していた。昼休みにはコーナー展示に興味を持ち、本を手取る生徒がいたり、貸出の増加につながったりしていた。

ウ 司書による「幼稚園実習読み聞かせ」授業支援

3学年では、家庭科において幼稚園実習があり、園児に読み聞かせをするため3学級2時間ずつ司書が授業支援をしている。司書は2回の読み聞かせを

行い、生徒は、1回目は床に座って園児の視点で、2回目は実習で読み聞かせる立場としての視点で聞いた。2つの視点で読み聞かせを聞いたことで、生徒はどのように読むと園児が聞きやすいか見やすいか等、留意点に気付くことができた。また、対象園児の年齢に合わせて絵本を選び、班で1人ずつ読み聞かせる練習を行った。生徒は、良かった点や気付いた点をメモして互いに伝え合い練習を重ね上げていた。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・貸出冊数、利用人数は、共に年々増加している。

年度	R5	R6	R7※
貸出冊数	235	598	801

(※R7年度4月～11月)

- ・「読書ビンゴ」は、主に1年生と2年生がビンゴを楽しみながら取り組んでおり、ビンゴ達成に至る生徒は少なかったものの、読書の意欲喚起ができた。
- ・おすすめ本のコーナー設置により、本に興味を持ち、手に取る生徒が増え、とても効果的であった。

(2) 課題

- ・図書館には来るものの、本を手取らない生徒も目立つことから、本に興味を持てるように、読書につながるように一層の工夫が必要である。
- ・外国籍の生徒が多いため、多様な選書が必要である。

(3) おわりに

多忙な中学校生活の中でも、生徒が読書する時間を確保できるような取組を提案し、誰もが過ごしやすい図書館となるよう読書環境整備に努めていきたい。